

哲学委員会現代における「いのち」を考える分科会
(第26期・第5回)
議事要旨

日 時：令和6年10月17日（木）19：00～21：30

会 場：オンライン会議

出席者：安藤、土井、吉水、一ノ瀬、島菌、香川、木村、小島、建石、田坂、豊田（中途退室）、西村（中途入室）、川端

以上13名

参考人として、高山佳奈子先生（京都大学・刑法学専門）が参加（議事2のみ）

議事

1. 前回の分科会議事録の確認

第4回議事録の内容について確認し、承認された。

2. 参考人の高山佳奈子先生により「刑法学から見た安楽死・尊厳死」

約1時間10分の報告ののち、25分程度参加者でディスカッションを行った。

3. 今年度の参考人招致と今後の分科会について

・旅費について

事務局から、参考人招聘費用を含め1分科会あたり上限6万円（第一部の予備費（1万3千円の残額）最大7万3千円）という連絡があった（謝金は別）。

・今期における意見の表出に関して議論された。

参考資料：科学的助言等対応委員会について

<https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/jogen/index.html>

<https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/jogen/26kousei.pdf>

・今後の方向性に関する議論についてはオンラインでも可能ではないかという案が提示された。

・分科会でシンポジウム（対面かオンラインかは要検討）を行う案が提示された。

4. 次回分科会について

・次回日程は執行部で調整のうえ、MLで調整することとなった。